

下部消化管内視鏡検査（大腸カメラ）

検査前日

消化の良いものを食べてください。
夕食は夜9時までに済ませていただき、下剤（ラキソベロン）を内服します。

検査当日

朝から腸管洗浄剤（サルプレップ）の内服を開始します。
しばらくすると排便が始まり、徐々に便の状態が変化していきます。便が透明になると、検査ができる状態です。

当日は検査終了まで食事を取らないでください。
水分制限はありませんが、水、お茶を飲んでください。

来院後

来院後、検査着に着替えます。
検査前後は準備室をご利用いただけます。

左側臥位で検査を開始します。
肛門から内視鏡を挿入し、盲腸まで観察します。
検査の過程で、体位変換やお腹を圧迫することがあります。
検査時間は15分～30分程度の予定です。
腸粘膜の異常やポリープがある場合は、生検やポリープ切除を行います。

検査後に結果を説明します。生検やポリープ切除をした場合は、後日病理結果を説明します。
ポリープ切除を行った場合は、出血のリスクがあるため、1週間ほど激しい運動・飲酒などは控えてください。

初めての方やご不安のある方もお気軽にご相談ください。